かいゆうだより
2019. 5. 15
No.57
発行：社会福祉法人かいゆう　国立市青柳 1-34-3　☎042-595-8033　http://www.kaiyu.or.jp/

野田市の少女虐待事件に思う

大人のアトリエ参加者の皆さんの作品

小学校４年生の少女が父親に虐殺されました。また母親も父親に加担していたということで逮捕されました。1才の赤ちゃんは乳児院へ。当初母親は夫(少女の父親）からのDV（ドメスティック・バイオレンス）の被害者として報じられていましたが、捜査後、少女虐待の加害者として逮捕拘留されました。

DVから逃げる事さえできない、自分の身も処しきれない母親が子どもを守れるわけもありません。自分の身を守るために子どもを助けようとしなかったと思われるかもしれませんが、私は母親が自分の身を守れていたとも思いません。結果は少女は亡くなり、母親は生き残ったかもしれませんが、今母親は自分が生きていることをどう理解できているのか。

私は配偶者暴力相談支援センターの女性相談員として日々これに似た相談を受けます。そして思うのは自分を犠牲にする人は相手をも犠牲にしてしまうということです。だからまずは自分の自由と解放を得ることを一緒に考えましょうと話します。さすがに、この事件で母性神話を語る人は多くはありませんでした。しかし皆無ではありません。母親なら子どものために命さえも捧げるべきだと。

こうした誤った「愛情観」が親や家族を苦しめ追い詰めます。かいゆうは、しょうがいのある方たちと日々接し、ご家族や親御さんのご苦労を目の当たりにします。そんな時、何とか楽になっていただきたい、しょうがいのある家族がいることを特別なことだと思わないでいただきたい、家族でいられてよかったと思っていただきたい、そのために私たちは何ができるだろうという思いで支援させていただいています。私たちもまた人手不足の中、十分な支援ができない歯がゆさを抱えながら、その限界をわきまえながら、それでもなお、あきらめずに、できることをやり続けること。そして、できないことをできないという勇気をもち、そこからまた一緒に考えていくことができるなら、最悪の事態にはならないのではないかと考えています。（理事長　遠藤良子）

生活介護事業所
くじら工房
Tel/Fax 042-843-3450

新しい仲間が増えたよ！

新年度になり、高校を卒業した新しい利用者さんが２名増えました。そして新しいスタッフや長期休暇から戻ってきたスタッフも増え、利用者さんにとっては大きな環境の変化だったと思います。ゆっくり時間をかけて慣れていき、お互いがくじら工房の仲間と思っていけるようサポートしていきます。

そして今年も、くじら工房の畑にきれいなクロッカスやチューリップが咲きました！去年、実習生として工房の活動で球根を植えてくれたその実習生は今、工房の利用者さんとしてその花にニコニコ笑顔で水をたっぷりあげてくれています。

また、現在畑には小松菜とじゃがいもを植えています。収穫時期になったら、たくさん収穫し、隣のたまりば宙で販売できるのを楽しみにしています！無農薬野菜、是非買いに来てください！（山本）

放課後等デイサービス
くじらっこ
Tel/Fax 042-505-4661

その時、その時の子どもたちを感じて

２月から、くじらっこで働かせてもらっています橋本です。くじらっこの楽しそうな子ども達の様子を見ていて、ずっと働いてみたいなと感じていました。今回ご縁があり、働くことができて嬉しく思っています。３月は、毎年恒例の春のイベントで山梨にお出かけして、ほうとうを食べたり温泉に入ったり楽しみました。卒業式や入学式、進級もあり、子ども達の様子も普段とは少し違ったりと、その時その時の子ども達を感じています。

平成が終わり「令和」が始まりましたが、これからも新しい時代を子ども達と楽しく過ごしていきたいと思っています。（橋本）

しょうがいしゃの方のためのアート

国立五日制の会主催ギャラリー展に関わって

2019.3.9～10

「音楽の広場のおまけ」という衝撃的な立ち位置からスタートしたこの「ギャラリー展」。事業所全体が、かなり音楽至上主義的な雰囲気の中、美術大好きなオタクの私としては心の中で「えー!!（100 回くらい）」と思いながら今まで関わってきました。

しかし、それから数年が過ぎ、くじら工房でアトリエ活動のメニューを設けるようになり、参加者の方が増えるという幸運にも恵まれて、展覧会自体が私のイメージする「しょうがいしゃの方のためのアート」という方向に少しずつですが、舵をとることができていると感じています。

しょうがいしゃの方の自立のひとつとして、「できる範囲でみんなで協力すること」は、とても大切だと思っています。展覧会とは、会期が始めれば本当に「発表会」という雰囲気で、お花やお菓子に囲まれた華やかな場所です。しかし、その裏側は別世界。ガテン系のお仕事で、脚立や台車を運ぶスタッフの重労働によって支えられ、作品が美しく飾られるのです。作者が重い荷物を運ばなくてもいい。でも、できるかぎり作者の方々も、会期中に参加して欲しいとお願いしました。

たくさんの「アーティスト」と、そのご家族やお友達、ヘルパーの方々の集った今回の展覧会。私は２日間、多くの方とお話することができました。展覧会のイメージを共有してご協力いただきましたくじら工房の皆さん、日中一時のＳくん、Ｋくん、ご来場いただきましたすべての皆様に本当に感謝しています。ありがとうございます！！（大人のアトリエ講師　三浦敦子）

相談支援エプシロン

Tel 042-505-7021　Fax 042-505-7669

計画相談が始まってから4年が経ちました

4年前から、新規申請 or 更新手続きに、ひと手間が増えた。「受給者証を新規申請 or 更新するときは、サービス等利用計画の提出が必須。セルフプランも認めるけれど、できれば相談支援事業所に依頼しましょう」と、障害福祉サービス利用者のもとに行政から通知がくるようになったからだ。サービス等利用計画を作成するために行う一連のことに「計画相談」という名称がつき、2013年に施行された障害者総合支援法に定められて、2年間の経過措置後、2015年4月に必須化された。

サービス等利用計画は、利用時間や日数を週間予定の形で示すとともに、目的だの目標だのを書かなくてはいけない。支援目標、達成時期、ご本人の役割などを書く欄もある。行政がサービス種類と支給量を決定する際の「根拠」らしくする体裁なのだろうが、日々の生活を送るだけなのに、なぜいちいち役所に目標を報告しなければならないのかと、わたしはいつも不服に思う。でも、いざ書類作成に取り掛かると、面談や電話やメールで伺った言葉からご本人の生活イメージが立ち上がり、お一人お一人の名がついた本の頁をめくるような気持ちで、様々な項目を埋めていく。

モニタリングは、サービスが行われている状況の確認で、事業所からはサービス提供頻度やご本人の様子を聞き、ご本人やご家族からは、困っていることや新たなニーズはないか等を聞いて、報告書を作成する。通所先や放課後等デイサービス等を訪問することもある。モニタリングは、基本的には半年に1回行うこととなっているが、今後、基本を3ヶ月に1回にするという行政からの話もある。

この4年間、相談支援事業所とは何をすればよいのか手探りで進んできた。“サービス等利用計画とモニタリング報告書の作成に関わる諸々のこと”がどんなことまで含むのか、決まりはない。なので、「エプシロンの書類作成が遅れて、受給者証の発行が新規利用契約や既存サービス提供事業所の請求に間に合わなくなり、ご利用者や事業所に不利益が生じることはないように」というのを最低ラインとし、あとは、かなりの部分、求められることに応じて動いてきた。これからも、エプシロンのその路線はあまり変わらないと思う。

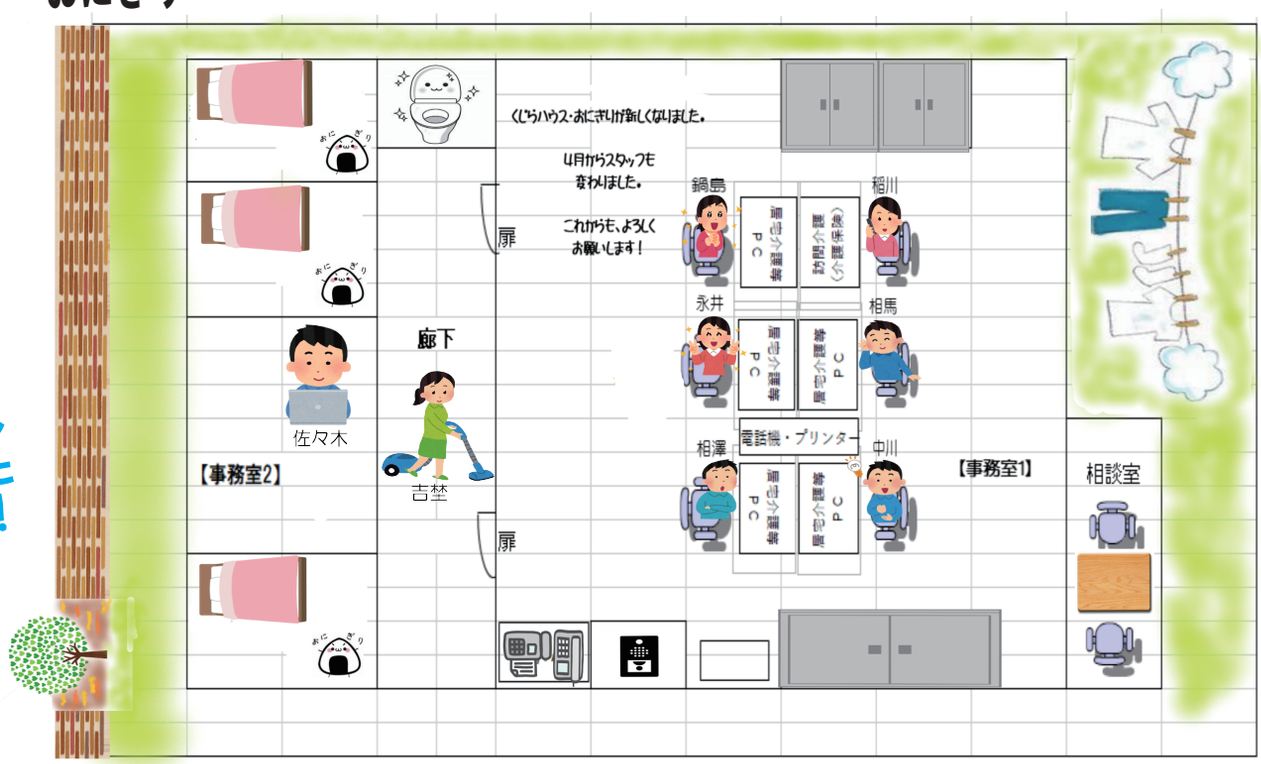
もう少し改善していきたい点として考えているのは、「あっさりモニタリング」と「じっくりモニタリング」の使い分け。活動場所への訪問など自然な形でのモニタリングの増加。18歳以上の方は、なるべくご本人に書類にサインをしていただくこと。相談支援専門員の増員です。（白川）

居宅介護等事業・訪問介護事業 くじらハウス
短期入所 おにぎり

Tel 042-505-7034
Fax 042-505-7035

4月からスタッフが変わりました。これからもよろしくお願いします！

新しくなりました！



はじめの一歩ハウス

寒いけど、春満喫！

引っ越しをして数ヵ月が経ち利用者さん・スタッフ共に富士見台での生活にも慣れてきました。きれいになり、快適な生活にはなったものの“お家感”があった旧一歩ハウスも恋しくなっています。まだ咲き始めではあったものの、お花見もして春を満喫した一歩ハウスです♪（坂野）

菜の花と桜…
きれいなコントラストです

来歩ハウス

雪遊び＆温泉

今年も毎年恒例の河口湖へ、３月１日に、雪遊び＆温泉に日帰り旅行に行って来ました。
今年は暖冬？のせいか雪が溶けていましたが、暖かくてソリで遊ぶには十分でした。
毎年恒例とあってソリに乗るのも入居者さんは慣れたもので、ワタワタしているスタッフの顔を見て「まだ滑らないの？」といった様子でした。不慣れなのはスタッフでした（笑）
ソリで遊んだ後は、温泉へ富士山をバックにのんびりとお風呂につかりましたー。
温泉がメインの人、雪遊びがメインの人、食べるのがメインの人、楽しみ方は皆さん違いますがそれぞれに楽しんでいたので、今年も来て良かったなぁーと思いました。
楽しい時間ほど、時間が過ぎるのもあっという間に過ぎてしまいますが「時間を大切にしながらたくさん楽しもう！」と今回の外出で改めて感じました。（川鍋）

メゾン・ド・歩人

いちご狩り

歩人の生活の近況報告を。
毎年冬は雪遊び（ソリ滑り）をしていましたが、今年は趣向を変えて小野さん発案のいちご狩りへ。歩人の皆は果物大好きで、最近話題の秩父へドライブしながら和気あいあいと向かいました。今回のいちご農園は車いすでも通りやすく、高設土耕栽培という（らしい）腰の高さにいちごが実っていて食べやすい！種類も豊富でどれも美味しくこっちがいい、あっちのもいいと巡りながらお腹いっぱいになるまで食べました。農園のご好意で時間無制限にしていただきました。
そのあとは秩父駅前が再開発されている、温泉・お土産・秩父名物があるフードコート複合施設へ。ゆったりと温泉に入った後は、お待ちかねの昼食タイム。わらじかつや、秩父そば等好きなものを　　食べました。コンパクトにまとまった動きやすい日帰り旅行となりました。（中山）

ミラハウス

第二の家

ミラとはくじら座の星☆彡

かいゆうで１年半アルバイトさせて頂き、今年の４月から「ミラハウス」で正職員になりました杉本です。２月から「はじめの一歩」の上の３階で新しいグループホーム「ミラハウス」として、入居者さんが生活し始めました。まだまだ利用者さん、スタッフ含めて慣れないことが続いていますが、少しずつお互いに成長しています。利用者さんの中にはミラハウスへ行くことを自宅にいる時から楽しみにされ、帰寮された時には笑顔をみせて頂ける方がいらっしゃいます。「ただいま」「おかえり」と言い合える第二の家として、これからも親しみが持てる雰囲気作りをスタッフ一同心掛けていきたいと思います。又、２月が誕生日だった利用者さんの遅めの誕生会も行いました。バースデーケーキを準備し、ミラハウス初めての行事です。利用者さんの笑顔が溢れた思い出になりました。

少しずつではありますが、ミラハウスでのこうした思い出作りも行っていきたいと思います。どうか、温かい目で見守って頂けると幸いです。（杉本）

とれいる

休日の過ごし方

休日の日中支援で所沢市のイチゴ狩り（3 月 2 日）、羽田空港✈(3 月 9 日）に行って来ました。いちご狩りでは、甘いイチゴに練乳を沢山つけてとスタッフにお願いして甘々のイチゴを食べたり、写真を撮った後にイチゴを潰してしまったりと笑顔が沢山ありました。

羽田空港では、内心嬉しいのにクールに飛行機を眺めたり、飛行機ではなくスタッフに夢中だったり、飛行機を横目に強風の中を行ったり来たりしたり、と各々の楽しい時間を過ごしました！（寺島）

すうぇる

目標は先輩

４月から新卒採用で、すうぇるへ所属になりました村井　颯と申します。４月までは２年間 YMCA 医療福祉専門学校で介護福祉士取得に向け勉強をしました。

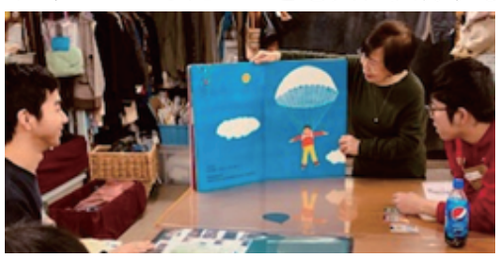
初めての社会人にドキドキしながらも、座学だけでは学ぶことの出来ない現場入りを、とても楽しみにしています！１日でも早く松原先輩のような素敵なスタッフになれるよう、全力で頑張りたいと思います！どうぞよろしくお願い致します。（村井）

誰もが集えるみんなの居場所（10：30～18：30 日祝休み）
日中一時支援事業（15：30～土日祝休み）

たまりば宙（そら）Tel/Fax 042-843-0443

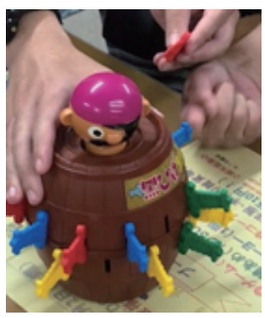
日中一時支援事業
この一年を振り返って

日中一時支援事業が始まり、二年が経ちました。
「自分で選んだ日に来られる安心できる場」
「利用される方自身の持っている力を引き出せる場」
「チャレンジしたいことを共に試行する場」。



月一回の夕食作りは定着し、作るのが好き、食べるのが好き！包丁、ピーラー、泡立て器。

得意なこと、出来ることを。
メニューは案を出し合い、餃子、チーズタッカルビ、ちゃんこ鍋等々。
早く食べる０君、Ｙ君、Ｓ君 。
ゆっくり食べるＦ君、Ｈ君、Ｕ君。



食べ過ぎてしまうので、おかわりは一回までね。
（いつも美味しい）。

七夕の時は三年先まで短冊に書いていたＹ君。

ハロウィーンでは様々な仮装。
Ｎ君はスパイダーマン。
近所に協力していただき、
お菓子をもらいに行きました。
くじらっこからお客様。
イタズラされる前にお菓子を渡さなきゃ（笑）

クリスマスにはケーキの差し入れ。
均等に切るのが大変。

豆まきではＳ君が鬼。

バレンタインデーには、
みんなにチョコレート。
チョコがダメなＹ君は、お煎餅。

ひな祭りは、みんなで、
ちらし寿司作り。
トッピング係のＵ君。

一年間楽しかったです。
ありがとう♪(岡野)

たまりば宙は４月で
10 周年を迎えました！

感謝の気持ちを込め、利用者の皆様に、４月１日から手作りクッキーを配布しました。

時代の節目に振り返ってみた

熊本城　近秋に天守閣公開予定

軽い気持ちで

厳密に言いますと、博多にてフラメンコの発表会があり参加し、軽い気持ちで「熊本のお城どうなっているか見に行こう!!」と足を延ばし熊本まで行ったわけです。

熊本地震（2016.4.14）から３年。こりゃ復旧までは、えらい時間がかかるぞ!!が正直な感想。ガイドさんたちがいろいろな視点から自身の考え、今の復旧のこと、伝えています。皆、明るい。「負けんばい熊本」。撮った写真を繰り返して眺めているうちに、私自身の震災やらテロやら、どう関わっていたかな？と振り返りました。

他人事ではなかった

自分自身、身近に感じたのは阪神淡路大震災（1995.1.17）。テレビで見たときは「はぁ」と他人事でしたが、学友のボーイフレンドが、とにかく行くんだ！助けるんだ！と向かい、亡くなってしまいました。二次災害でした。その時、自分がその場所にいなくても、こんな風に震災が降りかかってくることを知りました。

そして地下鉄サリン事件（1995.3.20）。この日当日、短大の卒業式でした。この時間、この電車に乗って来るはずだった友人が来ない、連絡もつかない。まさか!!と肝を冷やしましたが、ただの寝坊でホッとしたことを憶えています。

そして記憶に新しい東日本大震災（2011.3.11）。国立五日制の会のスキーに出かけており、なんとグループホームに着いたのが午前２時。テレビを見てこれは大変だ!!と震えがきました。その後福島原発の爆発と続きます。

この環境に感謝

５月に年号が変わり、昭和→平成→令和と生きることになるわけです。そんな節目にタイミングよく熊本に行き、振り返りしようという気持ちになり、文章にできたこの環境に感謝です。忘れずにいることが出来ました。（小野）

宮城県岩沼市　海沿い津波被害の跡

かいゆう人語

おいしいワインができるのは…

栃木県足利市にあるココファームのワインは、日本ワインの最高峰だと思います。
はじめて教えてもらったのは、あるレストランのソムリエさんからです。ソムリエ界のレジェンド田崎さんも推薦しているのを最近知りました。原料の葡萄は「こころみ学園」の知的しょうがい者が 1970 年代から丹精込めて作っていることも後で知りました。カリフォルニアからやってきたブルースという若いワイン醸造家が、硬質だけどバランスの良い、特徴のあるワインを作っていきました。この本はその物語です。とてもうれしい本です。暗くて息苦しい日本にも、希望とか、やすらぎとかが、ちゃんと育っているぞ！と思いました。是非読んでください。

結局、おいしいワインができたのは様々な人たちの努力やチームワークのおかげですが、「こころみ学園」の創始者や、その後継者（娘二人）がとても呑んべでワイン好きだったからだとも思います。

※葡萄畑は南向き斜面に作られます。知的しょうがい者は集中力が不足するので、うまく仕事が続かないことが多いのですが、ココではみんな斜面に気を取られ滑らないように集中し続けることでうまく仕事が続くそうです。
（組織運営部長　佐藤　秀和）

ボランティアのみなさま（2019 年 1 月～ 12 月　敬称略）

家村　弥香　遠藤　裕子　荻原　恵子　加藤　正猛　栗原　典子　佐藤　多香子
塩谷　祐子　白井　章子　鈴木　龍也　高橋　達夫
中田　稔　鍋島　謙　福井　和江　本間　裕
松永　一子　宮崎　映子　宮崎　嘉男　ゆうき　理
横井　由紀　横山　由貴恵　渡辺　波子　渡辺　光子
くにたちハンドマッサージ（日向　隆美子・森　茂美）
東京国立ライオンズクラブ

ありがとうございました！

7/7（月）10:30 ～ 14:00
YMCA 夏祭り

今年も出店するよ！

見てね！
facebook　ホームページ

★職員の入退職★

退職

大島桃枝さん	2019. 3 月 31 日
新里亜紀さん	2019. 3 月 31 日
橋本豪さん	2019. 4 月 15 日

入職

高橋雅一さん	2019. 4 月 1 日
村井颯さん	2019. 4 月 1 日
杉本梨乃さん	2019. 4 月 1 日

編集後記◆皆さんは十連休を満喫しましたか？私は、一泊だけ伊勢に法事で行ったけど、あとはこの「かいゆうだより」を作ったり、近場で遊んだりして、意外とあっという間でした。元号が変わって新しい時代の到来とか、めでたい等と言われても、なんだかぴんと来ない。私はテレビをあまり見ないので余計そう感じるのだろうか。でも、周りを見回しても、身近には、そんなノリの人にはお目にかからない。マスメディアやお店等は、お祝いムードを盛り上げようとしているけれど、国民はイマイチ冷めているよね。（な）